

◆ 情報理工学系研究科

(1) 東京大学大学院情報理工学系研究科規則

〔平成13. 4. 1
制 定〕

改正	平成13. 7. 10	平成14. 4. 1	
	平成15. 4. 1	平成16. 4. 1	
	平成16. 4. 20	平成17. 4. 1	
	平成17. 10. 1	平成18. 4. 1	
	平成18. 12. 22	平成19. 4. 1	
	平成20. 4. 1	平成21. 4. 1	
	平成22. 4. 1	平成23. 4. 1	
	平成23. 6. 1	平成24. 4. 1	
	平成24. 6. 28	平成25. 4. 1	
	平成26. 4. 1	平成27. 4. 1	
	平成28. 4. 1	平成28. 6. 23	
	平成29. 4. 1	平成30. 4. 1	
	平成31. 4. 1	令和 2. 4. 1	
	令和 3. 4. 1	令和 4. 4. 1	
	令和 5. 4. 1	令和 5. 10. 30	
	令和 6. 4. 1		

(目的)

第1条 この規則は、東京大学大学院学則（以下「学則」という。）中、各研究科において定めるように規定されている事項及び東京大学大学院情報理工学系研究科（以下「本研究科」という。）において必要と認める事項について定めることを目的とする。

2 本研究科における教育課程、試験、入学及び修了等については、この規則に定めのあるもののほか、本研究科教育会議（以下「教育会議」という。）及び各専攻会議の議を経て、これを定める。

(教育研究上の目的)

第1条の2 本研究科は、情報理工学の体系的知識を身につけ科学的手法を追究して情報科学技術に関わる研究や開発を主導することのできる人材を養成し、情報理工学の発展に貢献することを目的とする。

2 各専攻の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、別に定める。

(学期)

第1条の3 学年を4学期に分ける。

2 各学期の期間は、学則第41条第3項により別に定められるところによる。

(修士課程の修了要件)

第2条 修士課程の修了要件は、学則第5条第1項の定めるところによる。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、特例として1年以上在学すれば足りるものとする。

2 前項のただし書の特例の適用に関し必要な事項は、別に定める。

(博士後期課程の修了要件)

第3条 博士後期課程の修了要件は、学則第6条第1項の定めるところによるものとし、本研究科で定めた所要科目を20単位以上修得しなければならない。ただし、在学期間に関しては、特に優れた研究業績を上げた者については、特例として次の各号に掲げる年数以上在学すれば足りるものとする。

(1) 修士課程に2年以上在学し当該課程を修了した者 1年

(2) 前条第1項ただし書の規定による在学期間をもって修士課程を修了した者
修士課程における在学期間を含めて3年

(3) 学則第16条第2項第7号及び第8号の規定により入学した者 1年

2 前項ただし書の特例の適用に関し必要な事項は、別に定める。

(長期履修学生制度)

第3条の2 学則第2条第7項に定めるところにより、学生がそれぞれの課程の標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することを希望する旨を申し出たときは、教育会議の議を経て、その計画的な履修を認めることができる。

2 前項に定めるもののほか、長期履修学生の取扱いに関し必要な事項は、別に定める。

(教育課程)

第4条 各専攻の授業科目の履修及び単位については、別表の定めるところによる。ただし、教育会議及び各専攻会議の議を経て、別段の定めをすることができる。

2 授業科目の単位数は、講義については15時間、演習(輪講を含む。)については30時間、実験又は実習については45時間の授業時間をもって1単位とする。

(履修方法)

第5条 学生は、指導教員の指示によって授業科目を履修し、必要な研究指導を受けるものとする。

第6条 修士課程においては、指導教員の許可を得て、次の各号に掲げる科目を修得した場合は、別に定める単位数の限度内で、これを修士課程の単位とすることができる。

(1) 学部及びグローバル教育センターの科目

(2) 他の専攻、他の研究科又は教育部の科目

第7条 博士後期課程においては、指導教員の許可を得て、次の各号に掲げる科目を修得した場合は、別に定める単位数の限度内で、これを博士後期課程の単位とすることができる。

(1) 学部及びグローバル教育センターの科目

(2) 修士課程の科目

(3) 他の専攻、他の研究科又は教育部の科目

2 修士課程において、修了に必要な単位を超えて修得した単位は、指導教員の許可を得て、10単位を限度として、博士後期課程の単位数に加えることができる。

(他の大学の大学院又は研究所等における研究指導)

第8条 学則第12条に定める他の大学の大学院又は研究所等における研究指導は、指導教員の申請に基づき、教育会議の議を経て、これを許可するものとする。

2 前項に定めるもののほか、他の大学の大学院又は研究所等における研究指導に関し必要な事項は、別に定める。

(履修科目届及び受験届)

第9条 学生は、授業科目を履修しようとするとき又は履修した授業科目について単位を修得しようとするときは、指定の期間内に所定の様式により届け出なければならない。

(試験)

第10条 試験は、学期末又は学年末に行う。ただし、担当教員は、平常の成績又は報告をもって試験に代えることができる。

2 前項のほか、特に必要な場合は、教育会議の議を経て、追試験を行うことができる。

(学位論文)

第11条 学生は、指導教員の指導を受けて、指定の期間内に学位論文を研究科長に提出するものとする。

(最終試験)

第12条 最終試験は、所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者について行う。

2 最終試験の期日及び試験の方法については、あらかじめ発表する。

(学位の授与)

第13条 学則第5条第1項に定める修了要件を満たした者には、修士(情報理工学)の学位を授与する。

第14条 学則第6条に定める修了要件を満たした者には、博士(情報理工学)の学位を授与する。

(所属専攻の変更)

第15条 所属専攻の変更は、特別の事情がある場合に限り、教育会議の議を経て、これを許可することができる。

2 所属専攻を変更した者の変更後の専攻の在学期間は、変更前の在学期間と通算する。

3 所属専攻を変更した者の変更前の専攻において修得した単位は、専攻会議の認定により、第4条に規定する単位に算入することができる。

(入学資格)

第16条 修士課程に入学することのできる者は、学則第16条第1項(第8号を除く。)の定めるところによる。

2 博士後期課程に入学することのできる者は、学則第16条第2項各号の定めるところによる。

3 前項の場合において、学則第16条第2項第7号及び第8号に規定する資格要件を認定する基準は、別に定める。

(再入学)

第17条 修士課程又は博士後期課程を中途退学した者で、当該課程に再入学を志願する者については、学年の初め又は学期の初めに限り、教育会議の議を経て、入学を許可することができる。

2 再入学者は、退学前に所属した専攻に所属するものとする。

3 再入学者の在学期間は、教育会議の議を経て、これを定める。

4 再入学者が退学前の専攻において修得した単位については、第15条第3項の規定を準用する。

(修士入学)

第18条 本学大学院において修士の学位を得た者で、更に修士課程に入学を志願する者の選抜については、新たに入学を志願する者の例による。ただし、この場合においては、教育会議の議を経て、入学試験の一部を免除することができる。

2 前項により入学した者については、教育会議の議を経て、在学期間を1年とすることができる。

3 第1項により入学した者が前に在学した専攻において修得した単位は、専攻会議の認定により、第4条に規定する単位に算入することができる。

(博士入学)

第19条 本学大学院において博士の学位を得た者で、更に博士後期課程に入学を志願する者の選抜については、前条第1項の規定を準用する。

2 前項により入学した者については、教育会議の議を経て、在学期間を2年とすることができる。

3 第1項により入学した者が前に在学した専攻において修得した単位は、専攻会議の認定により、第4条に規定する単位に算入することができる。

(転入学及び転科)

第20条 学則第23条に定める転入学及び第24条に定める転科の受け入れについては、別に定める。

(特別研究学生)

第21条 学則第32条に定める特別研究学生の受け入れは、当該学生の所属する大学の大学院又は研究科等の申請に基づき、教育会議の議を経て、これを許可するものとする。

2 前項に定めるもののほか、特別研究学生の受け入れに関し必要な事項は、別に定める。

(大学院研究生)

第22条 大学院研究生については、学則及び東京大学大学院研究生規則によるもののほか、その取扱いの細目については、本研究科において別に定める。

(大学院科目等履修生)

第23条 学則第31条の2に定める大学院科目等履修生の受け入れは、申請に基づき、教育会議の議を経て、これを許可するものとする。

2 前項の定めるもののほか、大学院科目等履修生の受け入れに関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則 (平成13年7月10日東大規則第22号)(抄)

1 この規則は、平成13年7月10日から施行し、改正後の東京大学大学院学則の規定は、平成13年4月1日から適用する。

13 東京大学大学院情報理工学系研究科規則の一部を次のように改正する。

(省略)

附 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成18年5月12日から施行し、この規則による改正後の東京大学大学院情報理工学系研究科規則の規定は、平成18年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成18年12月22日から施行し、この規則による改正後の東京大学大学院情報理工学系研究科規則の規定は、平成18年12月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成23年6月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成24年6月28日から施行する。

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

附 則

この規則は、平成28年6月23日から施行する。

附 則

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

1 この規則は、平成30年4月1日から施行する。

2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

附 則

1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。

2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

附 則

1 この規則は、令和2年4月1日から施行する。

2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

附 則

1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。

2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

附 則

1 この規則は、令和4年4月1日から施行する。

2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

附 則

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和5年10月30日から施行し、令和5年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、令和6年4月1日から施行する。

別表 情報理工学系研究科授業科目（修士課程及び博士後期課程）

コンピュータ科学専攻

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
自然言語処理システム論	2	カスタムコンピューティング特論	2
分散並列計算論	2	リモートセンシング画像解析	2
計算システム検証論	2	計算科学・量子計算における情報圧縮	2
アルゴリズム論	2	自然言語処理応用	2
分散システムソフトウェア	2	多体問題の計算科学	2
メディア情報学	2	「量子現象・量子論入門」初学者のための量子論	2
計算機言語システム論	2	グラフ構造とグラフアルゴリズム	2
コンピュータグラフィクス	2	AIソフトウェアの信頼性保証特論	2
並列数値計算論	2	研 究 倫 理	0.5
三次元画像処理特論	2	計算科学アライアンス特別講義Ⅰ	2
配列解析アルゴリズム特論	2	計算科学アライアンス特別講義Ⅱ	2
DNA情報解析特論	2	計算科学アライアンス特別講義Ⅲ	2
ゲノム機能情報解析特論	2	計算科学アライアンス特別講義Ⅳ	2
戦略ソフトウェア特別講義Ⅰ	1	計算科学アライアンス特別講義Ⅴ	1
戦略ソフトウェア特別講義Ⅱ	1	計算科学アライアンス特別講義Ⅵ	1
戦略ソフトウェア特別講義Ⅲ	1	計算科学アライアンス特別演習Ⅰ	1
実践システムソフトウェア	2	計算科学アライアンス特別演習Ⅱ	1
実践コンピュータシステムⅠ	1	コンピュータ科学特別講義Ⅰ	2
実践コンピュータシステムⅡ	1	コンピュータ科学特別講義Ⅱ	2
先端アルゴリズム論	2	コンピュータ科学特別講義Ⅲ	2
コンピュータアーキテクチャとシステムソフトウェア	2	コンピュータ科学特別講義Ⅳ	2
実践英語対話表現演習Ⅰ	1	コンピュータ科学特別講義Ⅴ	2
実践英語対話表現演習Ⅱ	1	コンピュータ科学特別講義Ⅵ	1
通信理論のアルゴリズム的側面	2	コンピュータ科学特別講義Ⅶ	1
データ可視化論	2	コンピュータ科学特別講義Ⅷ	1
量子計算論	2	コンピュータ科学プロジェクト研究Ⅰ	3
計算機システムの数理的意味論	2	コンピュータ科学プロジェクト研究Ⅱ	3
戦略ソフトウェア特論	2	コンピュータ科学修士輪講Ⅰ	1
論文構成法	2	コンピュータ科学修士輪講Ⅱ	1
学際計算科学特論	2	コンピュータ科学修士特別研究Ⅰ	6
先端データ解析論	2	コンピュータ科学修士特別研究Ⅱ	6
先端統計モデリング論	2	コンピュータ科学博士輪講Ⅰ	2
コンピュータアーキテクチャ特論	2	コンピュータ科学博士輪講Ⅱ	2
オペレーティングシステム特論	2	コンピュータ科学博士輪講Ⅲ	2
近似・オンラインアルゴリズムとその応用	2	コンピュータ科学博士特別研究Ⅰ	4
情報セキュリティのためのアルゴリズム	2	コンピュータ科学博士特別研究Ⅱ	4
ネットワーク最適化	2	コンピュータ科学博士特別研究Ⅲ	4
計算科学における情報圧縮	2		
視覚情報処理応用	2		

〔備考〕

- 1 修士課程においては、コンピュータ科学修士輪講Ⅰ、Ⅱ、コンピュータ科学修士特別研究Ⅰ、Ⅱ及び実践英語対話表現演習Ⅰ又はⅡを含めて30単位以上履修しなければならない。
- 2 博士後期課程においては、コンピュータ科学博士輪講Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ及びコンピュータ科学博士特別研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを含めて20単位以上履修しなければならない。
- 3 上記のほか、履修する科目に関し、必要な事項については別に定める。

数理情報学専攻

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
確 率 統 計 情 報 論	2	科 学 技 術 計 算 II	2
確 率 過 程 論	2	現 代 暗 号 理 論	2
現 代 情 報 理 論	2	数 理 情 報 学 講 究	2
連 続 情 報 論	2	数 理 情 報 学 特 別 講 義 I	2
非 線 形 現 象 論	2	数 理 情 報 学 特 別 講 義 II	2
数 値 計 算 論	2	数 理 情 報 学 特 別 講 義 III	2
離 散 情 報 論	2	数 理 情 報 学 特 別 講 義 IV	2
数 理 構 造 論	2	戦 略 型 I T 特 別 講 義 I	2
応 用 数 理 学	2	数 理 最 適 化 特 論	2
応 用 幾 何 情 報 論	2	脳 科 学 特 論 I	2
プ ロ グ ラ ム 構 造 論	2	脳 科 学 特 論 II	2
ソ フ ト ウ ェ ア 構 成 論	2	ニ ュ ー ロ イ ン テ リ ジ ェ ン ス 入 門	2
応 用 経 済 工 学	2	数 理 情 報 学 輪 講 I	2
複 雑 数 理 シ ス テ ム 論	2	数 理 情 報 学 輪 講 II	2
言 語 情 報 科 学	2	数 理 情 報 学 博 士 輪 講 I	1
数 理 言 語 情 報 論	2	数 理 情 報 学 博 士 輪 講 II	1
現 代 制 御 理 論	2	数 理 情 報 学 博 士 輪 講 III	1
線 形 数 理 要 論	2	数 理 情 報 学 修 士 特 別 研 究 I	6
解 析 数 理 要 論	2	数 理 情 報 学 修 士 特 別 研 究 II	6
確 率 数 理 要 論	2	数 理 情 報 学 博 士 特 別 研 究 I	4
算 法 設 計 要 論	2	数 理 情 報 学 博 士 特 別 研 究 II	4
情 報 論 的 学 習 理 論	2	数 理 情 報 学 博 士 特 別 研 究 III	4
科 学 技 術 計 算 I	2		

[備考]

- 1 修士課程においては、数理情報学輪講Ⅰ、Ⅱ及び数理情報学修士特別研究Ⅰ、Ⅱを含めて30単位以上履修しなければならない。
- 2 博士後期課程においては、数理情報学博士輪講Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ及び数理情報学博士特別研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを含めて20単位以上履修しなければならない。
- 3 上記のほか、履修する科目に関し、必要な事項については別に定める。

システム情報学専攻

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
物 理 情 報 論	2	マイクロナノ医工学特論	2
物 理 情 報 デ バ イ ス 論	2	音 声 音 響 信 号 処 理	2
信 号 処 理 特 論	2	シ ス テ ム 情 報 学 特 別 講 義 I	2
計 測 制 御 シ ス テ ム 論	2	シ ス テ ム 情 報 学 特 別 講 義 II	2
バ イ オ サ イ バ ネ テ ィ ク ス	2	シ ス テ ム 情 報 学 特 別 講 義 III	2
ハ プ テ ィ ク ス	2	戦 略 型 I T 特 別 講 義 II	2
シ ス テ ム 制 御 論	2	脳 シ ス テ ム 解 析 論	2
動 的 シ ス テ ム 論	2	バ イ オ ・ 医 用 工 学 特 論	2
認 識 シ ス テ ム 特 論	2	生 物 組 織 透 明 化 ・ イ メ ー ジ ン グ 概 論	2
画 像 シ ス テ ム 特 論	2	圏 論 的 シ ス テ ム 論 の 探 求	2
行 動 シ ス テ ム 特 論	2	通 信 ネットワーク数理特論	2
人 工 現 実 感 特 論	2	サイバーセキュリティ実践論	2
計 算 シ ス テ ム 特 論	2	ガウス過程と機械学習特論	2
シ ス テ ム ア ー キ テ ク チ ャ 論	2	シ ス テ ム 制 御 特 論	2
脳 工 学 特 論	2	シ ス テ ム 情 報 学 輪 講 I	2
能 動 情 報 論	2	シ ス テ ム 情 報 学 輪 講 II	2
福 祉 工 学 特 論	2	実 世 界 情 報 シ ス テ ム 講 究	2
音 響 シ ス テ ム 特 論	2	シ ス テ ム 情 報 学 修 士 特 別 研 究 I	6
神 経 工 学 特 論	2	シ ス テ ム 情 報 学 修 士 特 別 研 究 II	6
逆 問 題 特 論	2	シ ス テ ム 情 報 学 博 士 特 別 研 究 I	4
生 物 物 理 シ ス テ ム 特 論	2	シ ス テ ム 情 報 学 博 士 特 別 研 究 II	4
メ デ ィ ア 処 理 論	2	シ ス テ ム 情 報 学 博 士 特 別 研 究 III	4
シ ス テ ム ソ フ ト ウ ェ ア 特 論	2		

[備考]

- 1 修士課程においては、システム情報学輪講 I、II及びシステム情報学修士特別研究 I、IIを含めて30単位以上履修しなければならない。
- 2 博士後期課程においては、システム情報学博士特別研究 I、II、IIIを含めて20単位以上履修しなければならない。
- 3 上記のほか、履修する科目に関し、必要な事項については別に定める。

電子情報学専攻

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
コンピュータシステム	2	電子情報学特別講義	2
アドバンスト・コンピュータアーキテクチャ	2	動的システム工学	2
並列分散プログラミング	2	ワイヤレス通信工学	2
データプラットフォーム工学	2	情報セキュリティ事例特論	2
ネットワークアーキテクチャ	2	社会知能技術	2
インターネット工学	2	サイバーレジリエンス	2
I o T システム工学	2	手順記述技法	2
アドバンスト情報セキュリティ	2	人工知能特論	2
映像メディア学	2	メディアコンピューティング実践	2
自然言語処理	2	情報科学研究補助技法	2
認知メディア論	2	先端機械学習	2
パターン認識	2	電子情報学特論 I	2
画像処理論	2	電子情報学修士輪講 I	2
画像符号化方式	2	電子情報学修士輪講 II	2
情報視覚化	2	電子情報学修士特別研究 I	5
知的視覚インタラクション	2	電子情報学修士特別研究 II	5
ウェブ工学	2	電子情報学博士特別研究 I	4
計算言語学	2	電子情報学博士特別研究 II	4
計算製造学	2	電子情報学博士特別研究 III	4
情報セキュリティ基盤論	2		
シミュレーション学	2		

[備考]

- 1 修士課程においては、電子情報学修士輪講 I、II及び電子情報学修士特別研究 I、IIを含めて30単位以上履修しなければならない。
- 2 博士後期課程においては、電子情報学博士特別研究 I、II、IIIを含めて20単位以上履修しなければならない。
- 3 上記のほか、履修する科目に関し、必要な事項については別に定める。

知能機械情報学専攻

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
知 能 機 構 論	2	先 端 人 工 知 能 論 I	2
知 能 制 御 論	2	先 端 人 工 知 能 論 II	2
知 能 情 報 論	2	知 能 機 械 情 報 学 特 別 講 義	2
知 能 ソ フ ト ウ ェ ア 論	2	知 能 機 械 情 報 学 特 別 講 義 II	2
知 能 機 械 構 成 論	2	知 能 機 械 情 報 学 演 習	2
ロ ボ テ ィ ク ス	2	知 能 機 械 情 報 学 特 別 演 習	2
エ ー ジェ ン ト シ ス テ ム	2	知 能 機 械 情 報 学 修 士 輪 講 I	2
生 命 体 シ ス テ ム	2	知 能 機 械 情 報 学 修 士 輪 講 II	2
複 合 現 実 感 シ ス テ ム	2	知 能 機 械 情 報 学 博 士 輪 講 I	2
人 間 機 械 情 報 論	2	知 能 機 械 情 報 学 博 士 輪 講 II	2
ヒ ュ ー マ ン イ ン タ フ ェ ー ス	2	知 能 機 械 情 報 学 修 士 特 別 研 究 I	6
脳 型 情 報 処 理 機 械 論	2	知 能 機 械 情 報 学 修 士 特 別 研 究 II	6
生 体 情 報 論	2	知 能 機 械 情 報 学 博 士 特 別 研 究 I	4
生 体 機 械 シ ス テ ム	2	知 能 機 械 情 報 学 博 士 特 別 研 究 II	4
神 経 行 動 学	2	知 能 機 械 情 報 学 博 士 特 別 研 究 III	4

[備考]

- 1 修士課程においては、知能機械情報学修士輪講 I、II 及び知能機械情報学修士特別研究 I、II を含めて30単位以上履修しなければならない。
- 2 博士後期課程においては、知能機械情報学博士特別研究 I、II、III を含めて20単位以上履修しなければならない。
- 3 上記のほか、履修する科目に関し、必要な事項については別に定める。

創造情報学専攻

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
戦略ネットワーク・ソフトウェア論	2	創造情報学博士輪講	2
数理モデリング論	2	創造情報学修士演習	2
認識行動システム論	2	創造情報学プロジェクト実践修士研究	10
実世界システム論	2	創造情報学プロジェクト実践博士研究	12
ユビキタス・ネットワーク環境論	2	実践英語演習Ⅰ	1
インターネット論	2	実践英語演習Ⅱ	1
戦略ソフトウェア特論	2	実践英語特別演習Ⅰ	1
創造情報学特論Ⅰ	2	実践英語特別演習Ⅱ	1
創造情報学特論Ⅱ	2	クラウドコンピューティング基礎論	2
音楽音声信号処理特論	2	クラウド基盤構築	2
プログラミングシステム論Ⅰ	2	分散システム基礎とクラウドでの活用	1
プログラミングシステム論Ⅱ	2	クラウドアプリケーション開発演習	2
計算言語学	2	アルゴリズムとプログラミング実践講座	2
パターン認識	2	データマイニングによる異常検知	2
数値計算アルゴリズム特論	2	コンピュータグラフィックス画像合成論	2
制御システム設計論	2	力学アニメーション特論	2
ディペンダブル情報システム	2	ヒューマンインタフェース特論	2
知能情報論	2	アドバンスト・コンピュータ・アーキテクチャ	2
Webプログラミング言語	2	数理最適化特論	2
クラウド基盤ソフトウェア	2	先進計算機構成論	2
情報論的機械学習	2	離散情報論	2
データサイエンス	2	システムアーキテクチャ論	2
感覚情報論	2	並列分散プログラミング	2
分散システムのモデリングと検証技術	2	オペレーティングシステム特論	2
先端スキル開発特別講義Ⅰ	2	物理ベース・アニメーション論	2
先端スキル開発特別講義Ⅱ	2	プログラミング言語処理系	2
先端スキル開発特別講義Ⅲ	2	デジタル・ファブリケーション論	2
先端スキル開発特別講義Ⅳ	2	応用コンピュータ・グラフィックス論	2
先端スキル開発特別講義Ⅴ	2	交通情報学特論	2
先端スキル開発特別講義Ⅵ	2	マルチモーダル知能構成論	2
創造情報学修士輪講	2		

[備考]

- 1 修士課程においては、創造情報学修士輪講、創造情報学修士演習、創造情報学プロジェクト実践修士研究及び実践英語演習Ⅰ又はⅡを含めて30単位以上履修しなければならない。
- 2 博士後期課程においては、創造情報学博士輪講、創造情報学プロジェクト実践博士研究及び実践英語特別演習Ⅰ又はⅡを含めて20単位以上履修しなければならない。
- 3 本学理学部情報科学科を卒業した者については、アルゴリズムとプログラミング実践講座を履修することができないものとする。
- 4 上記のほか、履修する科目に関し、必要な事項については別に定める。

各専攻共通

研究科共通科目

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
情 報 理 工 学 倫 理	0.5	グローバル・クリエイティブリーダー特別講義IX	2
情 報 理 工 学 連 携 講 義 I	1	グローバル・クリエイティブリーダー特別講義X	2
情 報 理 工 学 連 携 講 義 II	1	G C L 事 例 研 究 I	2
情 報 理 工 学 連 携 講 義 III	1	G C L 事 例 研 究 II	2
情 報 理 工 学 連 携 講 義 IV	1	G C L 事 例 研 究 III	2
情 報 理 工 学 連 携 講 義 V	1	領 域 知 識 創 成 特 別 講 義 I	2
情 報 理 工 学 連 携 講 義 VI	1	領 域 知 識 創 成 特 別 講 義 II	2
情 報 理 工 学 連 携 講 義 VII	1	領 域 知 識 創 成 特 別 講 義 III	1
情 報 理 工 学 連 携 講 義 VIII	2	領 域 知 識 創 成 特 別 講 義 IV	1
情 報 理 工 学 連 携 講 義 IX	1	領 域 知 識 創 成 特 別 講 義 V	1
イ ン タ ー ン シ ッ プ I	1	領 域 知 識 創 成 特 別 講 義 VI	1
イ ン タ ー ン シ ッ プ II	2	デ ー タ サ イ エ ン ス 実 践 演 習 I	2
グ ローバル・クリエイティブリーダー講義I	2	デ ー タ サ イ エ ン ス 実 践 演 習 II	2
グ ローバル・クリエイティブリーダー講義II	2	デ ー タ サ イ エ ン ス 実 践 演 習 III	1
グ ローバル・クリエイティブリーダー講義III	2	デ ー タ サ イ エ ン ス 実 践 演 習 IV	1
グ ローバル・クリエイティブリーダー講義IV	2	デ ー タ サ イ エ ン ス 実 践 演 習 V	1
グ ローバル・クリエイティブリーダー講義V	2	デ ー タ サ イ エ ン ス 実 践 演 習 VI	1
グ ローバル・クリエイティブリーダー講義VI	2	ソ フ ト ウ ェ ア ・ ク ラ ウ ド 開 発 プ ロ ジ ェ ク ト 実 践 I	2
グ ローバル・クリエイティブリーダー講義VII	2	ソ フ ト ウ ェ ア ・ ク ラ ウ ド 開 発 プ ロ ジ ェ ク ト 実 践 II	2
グ ローバル・クリエイティブリーダー講義VIII	2	ソ フ ト ウ ェ ア ・ ク ラ ウ ド 開 発 プ ロ ジ ェ ク ト 実 践 III	2
グ ローバル・クリエイティブリーダー講義IX	2	ソ フ ト ウ ェ ア ・ ク ラ ウ ド 開 発 プ ロ ジ ェ ク ト 実 践 IV	2
グ ローバル・クリエイティブリーダー講義X	2	知 能 社 会 情 報 学 講 義 I	2
グ ローバル・クリエイティブリーダー講義XI	2	知 能 社 会 情 報 学 講 義 II	2
グ ローバル・クリエイティブリーダー講義XII	2	知 能 社 会 情 報 学 講 義 III	2
G C L 情 報 理 工 学 特 別 講 義 I	1	知 能 社 会 情 報 学 講 義 IV	2
G C L 情 報 理 工 学 特 別 講 義 II	2	知 能 社 会 情 報 学 講 義 V	2
G C L 情 報 理 工 学 特 別 講 義 III	2	知 能 社 会 情 報 学 講 義 VI	2
G C L 情 報 理 工 学 特 別 講 義 IV	2	知 能 社 会 情 報 学 講 義 VII	2
G C L 情 報 理 工 学 特 別 講 義 V	2	知 能 社 会 情 報 学 講 義 VIII	2
G C L 情 報 理 工 学 特 別 講 義 VI	2	知 能 社 会 情 報 学 講 義 IX	2
G C L 情 報 理 工 学 特 別 講 義 VII	2	知 能 社 会 情 報 学 講 義 X	2
G C L 情 報 理 工 学 特 別 講 義 VIII	1	知 能 社 会 情 報 学 特 別 講 義 I	1
G C L 情 報 理 工 学 特 別 講 義 IX	1	知 能 社 会 情 報 学 特 別 講 義 II	1
G C L 情 報 理 工 学 特 別 講 義 X	1	知 能 社 会 情 報 学 特 別 講 義 III	1
グ ローバル・クリエイティブリーダー特別講義I	2	知 能 社 会 情 報 学 特 別 講 義 IV	1
グ ローバル・クリエイティブリーダー特別講義II	2	知 能 社 会 情 報 学 特 別 講 義 V	1
グ ローバル・クリエイティブリーダー特別講義III	2	知 能 社 会 情 報 学 特 別 講 義 VI	1
グ ローバル・クリエイティブリーダー特別講義IV	2	知 能 社 会 情 報 学 特 別 講 義 VII	1
グ ローバル・クリエイティブリーダー特別講義V	2	知 能 社 会 情 報 学 特 別 講 義 VIII	1
グ ローバル・クリエイティブリーダー特別講義VI	2	知 能 社 会 情 報 学 特 別 講 義 IX	1
グ ローバル・クリエイティブリーダー特別講義VII	2	知 能 社 会 情 報 学 特 別 講 義 X	1
グ ローバル・クリエイティブリーダー特別講義VIII	2		

[備考] 修士課程・博士後期課程

情報理工学英語コース

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
情報理工学英語特別講義Ⅰ	2	情報理工学英語特別講義Ⅷ	3
情報理工学英語特別講義Ⅱ	2		
情報理工学英語特別講義Ⅲ	2		
情報理工学英語特別講義Ⅳ	2		
情報理工学英語特別講義Ⅴ	3		
情報理工学英語特別講義Ⅵ	2		
情報理工学英語特別講義Ⅶ	1		

[備考] 修士課程・博士後期課程